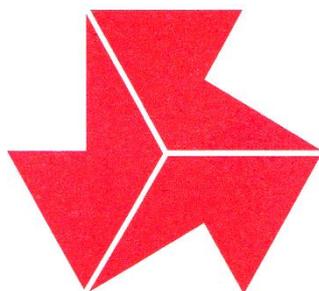


第 70 回

東海高等学校総合体育大会登山競技

令和 5 年 6 月 16 日・17 日・18 日

国立中央青少年交流の家
金時山・富士箱根トレイル



主 催 東海高等学校体育連盟

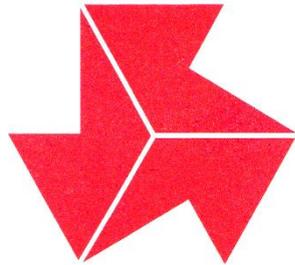
岐阜 三重 愛知 静岡 各県教育委員会

後 援 御殿場市 (公財) 静岡県スポーツ協会

主 管 静岡県高等学校体育連盟 登山専門部

(一社) 静岡県山岳・スポーツクライミング連盟

協 賛 菅公学生服株式会社



高体連マークのいわれ

このマークは、全国高体連が発足して間もなく制定されたもので、若人の力（K R A F T）、技（K U N S T）、明朗な精神（K L A R H E I T）を示すドイツ語の頭文字を組み合わせたものである。

競技は力であり、進歩は技の練磨にまつ。そして競技者は、つねに明朗な精神をもってこれに当たらなければならない。

高体連旗となって、全国大会をはじめ、高体連主催の大会はいつも頭上にひるがえるこのマークをみて、この意味をかみしめたいものである。

第70回東海高等学校総合体育大会登山大会

期 日 令和5年6月16日（金）～18日（日）

会 場 国立中央青少年交流の家、金時山・丸岳・立山、三国山、鉄砲木ノ頭

1 役員名簿

(1) 大会役員(16名)

大会会長 清水 俊幸 静岡県高等学校体育連盟登山専門部長
名誉顧問 勝又 正美 御殿場市長
木ノ内 高嘉 (一社)静岡県山岳・スポーツライティング連盟会長
大会委員長 鈴木 重幸 静岡県高等学校体育連盟登山専門部委員長
大会副委員長 岡山 滉(岐阜) 西 和典(三重) 石川 哲(愛知)
審査員長 中村 裕征(岐阜)
審査員 山本 潤一郎(静岡) 安本 明日香(静岡)
堀田 景子(愛知) 佐橋 秀男(愛知)
戸田 大輔(三重) 岸田 誠司(三重)
高橋 夏(岐阜)
講 師 米山 千晴(富士山須走口五合目東富士山荘 小山町議員)

(2) 競技役員(行動役員26名)

登山隊長 石垣 聡(韮山)
登山副隊長 藤井 岳之(富士東)
監 視(18名) 飯田 孝一(沼津工) 山田 哲久(市立沼津) 栗原 偉恒(富士)
諸戸 明(富士) 黒澤 和美(富士宮西) 加藤 博己(清水東)
海野 哲也(清水東) 井口 智弘(藤枝東) 久保寺 将(静岡)
砂田 純志(磐田南) 島崎 和彦(磐田南) 佐々木 努(浜松北)
柴田 一樹(浜松北) 稲垣 秀樹(浜松日体) 平井 勤(高体連OB)
伊藤 正道(高体連OB) 青山 尚樹(沼津工OB) 遠藤 紘平(沼津工OB)
救 護(4名) 岩崎 竜一(韮山) 福島 芙由子(静岡東)
浦川 陽子(看護師) 青木 聡美(看護師)
支 援(2名) 大倉 祥平(島田工) 田中 正夫(清水東)

(3) 総務役員(総務役員7名)

総務委員長 春木 紀広(沼津工)
総務副委員長 青野 浩行(沼津工)
経 理 志村 佳紀(日大三島)
庶務・記録 越智 宏之(日大三島)
輸 送 須田 俊輔(市立沼津)
審査員対応 清水 雄三(富士東)
通信(本部) 橋下 秀司(富士宮西)
補助役員(生徒) 沼津工業高校山岳部員

2 出場校（監督・選手）・総監督・視察員

出場校（監督・選手）

		A 隊 男 子		B 隊 女 子	
岐 阜	校名	飛騨神岡			
	監督	山田佳那太			
	C L	小瀬 雄大			
	S L	長江 春樹 今井 佑 加藤 匠望			
三 重	校名	四日市	桑名工業	四日市	四日市農芸
	監督	小西悠二郎	野村 和弘	高松 真親	深田 将希
	C L	三浦 蒼大	陸田 空	久保田 薫	郡司りょう
	S L	河村 悠介 則武 昌季 山本 聡一	酒井 嗣樹 出口 由晃 佐藤 瑚哲	竹村 栞 金井百々花 円谷菜々美	稲垣 栞生 川上 小春 新谷 好
愛 知	校名	西 尾	岡 崎	旭 丘	西 尾
	監督	中野 正人	小島 洋平	服部 誠	笠原 芙美恵
	C L	都築 奏介	三浦 侑真	牧 かな	松永 アナ
	S L	平井 亜斗夢 山口 陽太郎 鳥居 響	伊藤 航生 山本 皓大 富田 和輝	石原 瑠南 林 優空 堀 綾紗	古木 虹帆 高松 珠羽 岡田 美緒
静 岡	校名	静 岡	浜松日体	静 岡	沼津東
	監督	見原 航平	鈴木 和也	大川 和恵	玉城 大梧
	C L	小塩 大翔	市川 蒼空	大石 凜々	長谷川芽吹
	S L	河野 真叶 田井 俊平 望月 太智	野中 慎人 藤山 龍 岡本千陽莉	竹下 日菜 澤田 真菜 近藤 碧	宮永ひかり 松本乃愛留 砂山 亜瑚

総監督

岐 阜	三 重	愛 知	静 岡
岡山 滉 (飛騨神岡)	西 和典 (神 戸)	石川 哲 (名古屋市立北)	鈴木 重幸 (静 清)

第70回 東海高等学校総合体育大会登山大会 実施要項

- 1 主催 東海高等学校体育連盟 岐阜 三重 愛知 静岡 各教育委員会
- 2 後援 御殿場市 (公財) 静岡県スポーツ協会
- 3 主管 静岡県高等学校体育連盟 (一社) 静岡県山岳・スポーツクライミング連盟
- 4 協賛 菅公学生服株式会社
- 5 期間 令和5年6月16日(金)～18日(日)
- 6 会場 静岡県御殿場市 国立中央青少年交流の家・金時山・富士箱根トレル

7 日程

第1日〈6月16日(金)〉会場：国立中央青少年交流の家(以下交流の家)

- 10:50～11:00 受付(総監督・審査委員・視察員)
- 11:00～ 審査員会議 (研修館富士304)
総監督・視察員会議 (研修館富士305)
- 13:00～ 受付(監督・選手) (研修館富士展望ロビー)
- 14:00～ 開会式・登山隊編成 (研修館富士306・307)
競技説明
青少年交流の家オリエンテーション 5～10分
- 15:00～ 自然観察審査 (研修館富士206)
気象審査 (研修館富士205)
救急法審査 (研修館富士204)
天気図審査 (研修館富士203)
- 16:15～ 装備審査 (研修館富士307)
- 17:00～ 設営・炊事審査 (キャンプ場・野外活動棟)
- 18:00～ 県内総務・行動役員会議 審査員会議 (研修館富士306)
- 19:30～ 監督・リーダー会議 (研修館富士306)
- 21:00 就寝

(選手 テントで幕営 監督 交流の家に宿泊)

(総監督・審査委員・行動役員・総務役員・視察員 交流の家に宿泊)

第2日〈6月17日(土)〉会場：足柄駅、足柄峠、金時山、乙女峠、丸岳、長尾峠
交流の家(本部)

- 4:30～ 起床 (交流の家)
- 4:40 朝食配布(総監督・審査員)
- 5:00 朝食
- 5:55 正門ロータリー集合
- 6:00 引継ぎ式・バス乗車
- 7:00 競技スタート〔メインザック・チーム行動〕

《コース》(男子・女子共通)

交流の家 (バス輸送) JR足柄駅前S1 ～ 足柄古道・赤坂古道 ～
足柄峠CP1 ～ 金時山CP2 ～ 長尾山CP3 ～ 長尾峠駐車場G1

※CP1及びCP3は指定休憩10分とる。 (バス乗車)

(行動時間 約6時間 休憩・審査含む)

- 13:30～ 長尾峠よりバス輸送で交流の家へ

14:45頃	交流の家 到着
15:00	選手・監督（県内役員）宿舎着 総監督・審査員・県内役員 宿舎着 行動・総務役員会 （研修館富士 203～205）
16:00～	審査資料返却、質問・クレーム受付（研修館富士 301）
17:00～17:20	夕べのつどい （ラジオ体操広場）
17:20～18:00	夕食 （レストラン）
18:00～19:00	入浴 （男：宝永の湯 女：富士の湯）
19:00～20:00	講演会・諸連絡 （講堂） （本大会は交流会を実施しません。）
21:20	就寝

第3日〈6月18日（日）〉会場：三国山稜（本部：三国峠）

3:30	起床
3:40	朝食配布 弁当
4:00	朝食 荷物移動 （研修棟1）
4:55	正面ロータリー集合
5:00	引継ぎ式・バス乗車
5:35	須走浅間神社駐車場着
6:00	行動開始〔サブザック行動・チーム行動〕 〔三国峠 G2 後は監督と合流しパーティ行動〕

《コース》（男子・女子共通）

須走浅間神社 S2（駐車場）～ 紅富台入口 S3 ～ 大洞山 CP4 ～ 三国峠 G2
 ┌ サブザック・チーム行動 ─┐
 G2～ 鉄砲木ノ頭 ～ 三国峠 G3（駐車場）
 ┌ パーティ行動 ─┐
 （行動時間 約5時間 休憩・審査含む）

11:00頃	三国峠駐車場 到着（バス輸送 約45分）
11:45	交流の家到着 シャワー室使用可 浴室使用不可
12:30～13:30	選手・監督 昼食（レストラン） 審査員・総監督は弁当
12:30～13:30	審査員・総監督会議（研修館富士 305）
13:30～14:00	総監督会議（研修館富士 305）
14:20～	閉会式・表彰式（研修館富士 306・307）
15:00	解散

8 参加資格及び人員

- （1）選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
- （2）選手は各県高等学校体育連盟に加入している生徒で、当該競技実施要項により参加資格を得たものに限る。
- （3）（公社）日本山岳・スポーツライミング協会に令和5年度の選手登録がしてある者。
- （4）年齢は平成17年（2005年）4月2日以降に生まれたものとする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は一回限りである。
- （5）参加校は、各県男子2チーム、女子2チームまでとする。各チームは4名で編成し、うち1名をリーダーとする。男女混成のチームは認めない。
- （6）各チームに監督1名を置く。監督は高等学校教員であること。
- （7）各県に総監督1名を置く。総監督は高等学校教員であること。

(8) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

9 審査方法

(1) 全国高等学校総合体育大会登山大会成績評価基準に準ずる。

(2) チーム全員で装備点検の審査を受ける。

(3) 選手は分担して以下のように審査を受ける。

ア 天気図：天気図作成審査を受ける。

イ 救急：医薬品審査と課題テストを受ける。

ウ 気象：気象の課題テストを受ける。

エ 自然観察：自然観察の課題テストを受ける。

(4) 炊事審査は、大会本部から支給された食材を使用する。

10 表彰 男女とも、優勝校に優勝旗・賞状・メダルを、2・3位校に賞状を授与する。

11 宿泊について

	選手	監督・役員	審査員・総監督
第1日【6月16日(金)】	国立中央青少年交流の家・幕営	国立中央青少年交流の家・宿泊棟	国立中央青少年交流の家・宿泊棟
第2日【6月17日(土)】	国立中央青少年交流の家・宿泊棟	国立中央青少年交流の家・宿泊棟	国立中央青少年交流の家・宿泊棟

12 経費

(1) 参加者一人あたりの納入金について

	選手	監督	総監督・審査員	納入場所、方法等
参加費	2,000円			各県の高体連事務局に納入する。
宿泊費	3,320円	4,290円	5,170円	第1日目受付時に納入する。
輸送費	5,000円	5,000円		第1日目受付時に納入する。
合計	10,320円	9,290円	5,170円	

(1) 選手宿泊費：リネン・夕食材1食・夕食1食・朝弁当1食・昼食1食

(2) 監督宿泊費：リネン・夕弁当1食・昼弁当1食・夕食1食・朝弁当1食・昼食1食

(3) 総監督・審査員宿泊費：リネン・夕弁当1食・朝弁当2食・昼弁当2食・夕食1食

13 参加申し込みについて

東海高等学校総合体育大会登山大会所定の参加申込書に必要事項を記入し、選手人数分の参加費を添えて、各県の高体連事務局に提出する。

14 選手・監督変更について

選手・監督の変更が生じた場合は、東海高等学校総合体育大会登山大会所定の選手・監督変更届に必要事項を記入し、各県の高体連事務局に提出する。

15 荒天対策

登山隊長の要請に基づき、大会委員長が大会副委員長、行動隊役員、総務役員、審査員と協議し、総監督会議に諮り、対策を決定する。

※第2日目荒天の場合

予定ルートのうち、金時山を省き、足柄峠からピストンして足柄駅へ下山する。

予定ルートのうち、金時山から乙女峠を經由し乙女駐車場へ下山する。

※第3日目荒天の場合

予定ルートのうち、大洞山以降を省き、アザミ平から籠坂峠へ下山する。

第2日目、第3日目ともに大雨に関する警報等が発令されている場合は、当日大会本部より指示する。

16 連絡事項

(1) 選手、監督は次の表示をすること。

①13cm×18cm (B 6版) の布の上半分に県名、下半分に学校名を横書きし、ザックの背面等の視認しやすい位置に表示すること。

②3cm×6cm の布に学校名を横書きし、左胸上部の視認しやすい位置に表示すること。

③上記①②の表示は、サブザック行動時、雨具装着時にも容易に視認できるようにしておくこと。

(2) テント本体、フライの両方に校名を表示すること。

(3) 地図は大会本部配布のもの、または国土地理院発行2万5千分の1地形図「駿河小山」「御殿場」「関本」「須走」を使用する。大会本部配布の地図は凡例等、地形図に基づく。コピーも可とする。

(4) 天気図用紙は第1号を使用する。

(5) 燃料・食料の現地調達は困難である。(ガソリンの使用は禁止する。)

(6) 記録書は大会本部で準備する。その様式見本は予報と共に配布する。

(7) 参加者は健康保険証を持参すること。

(8) 国立中央青少年交流の家にはシャンプー、石けん、タオルはありません。各自で用意すること。

(9) 本大会では、出発・到着管理のため、各チームにQRコードを配布する。

CP(チェックポイント)では、QRコードを提示すること。

指定休憩のあるCPでは、到着時と出発時にそれぞれQRコードを提示する。

指定休憩は10分とするが、9分経過し、残り1分を切ったら、いつでも出発可能とする。ただし、指定時間10分を越えた場合、超えた時間は行動時間に含まれる。

17 本部連絡先

(1) 大会総務委員長 春木紀広 (静岡県立沼津工業高等学校)

電話：(055) 931-0343 (静岡県立沼津工業高等学校)

(2) 国立中央青少年交流の家 (第1日目 開会式、審査、幕営地、第3日目 閉会式)

住所：静岡県御殿場市中畑2092-5

電話：0550-89-2020

18 医療機関

フジ虎ノ門整形外科病院 御殿場市川島田1067-1 電話 0550-89-7872

富士病院 御殿場市新橋1784 電話 0550-83-3333

御殿場市救急医療センター 御殿場市西田中237-7 電話 0550-83-1111

19 その他

- (1) 受付は交流の家研修館富士展望ロビーで行います。
- (2) 計画輸送は以下を予定しています。
 - 6月17日 交流の家から登山コーススタート地点まで。
ゴール地点から交流の家まで。
 - 6月18日 交流の家から登山コーススタート地点まで。
ゴール地点から交流の家まで
- (3) 公共交通機関でお越しの監督は運営の車で移動していただきます。
- (4) 6月18日の昼食は交流の家レストランは13:30まで利用できます。
- (5) 大会用の地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図（「駿河小山」「御殿場」「関本」「須走」）をもとに作成してあります。
- (6) 荒天で幕営が不可能な場合は、体育館またはセミナーハウスに避難します。
なお炊事は、野外活動棟で行います。
- (7) トイレについて
大会第2日目
スタート地点の足柄駅、金時山山頂（有料100円）、ゴール地点の長尾峠駐車場
近くの料金所横にトイレがある。
大会第3日目のコースは、バスを降りた須走浅間神社駐車場にトイレがある。
- (8) 歩行中の休憩や昼食は、パーティで判断してとること。
- (9) 監督は交流の家に宿泊する。（シュラフは不要。）